

北の志づめ

第229号

令和7年4月



御田植祭(東川町)



第三鳥居

先人に学ぶ

流れる水を治めた土木技術者 岡崎文吉 北室 かず子氏

円山地域の生物

野鳥観察の事始め 円山にカラス類は3種生息している！

北海道大学大学院理学研究院
教授 高木 昌興氏

<http://www.hokkaidojingu.or.jp/>



北の志づめ 第229号 令和7年4月1日発行

〒064-8505 札幌市中央区宮ヶ丘474

電話／011-611-0261 FAX／011-611-0264 北海道神宮社務所

<http://www.hokkaidojingu.or.jp/>



先人に学ぶ

北室 かず子

第一回

流れる水を治めた土木技術者



おかざき ぶんきち
岡崎 文吉

明治五年（一八七二年）
～昭和二十年（一九四五年）

北海道一の大河、石狩川の雄大な姿は魅力にあふれています。その一方、たびたび起こる洪水は人々を苦しめてきました。この石狩川に初めて科学者として向き合った人物が岡崎文吉です。

岡崎は岡山県生まれ。十六歳で札幌農学校工学科に入学し、二十二歳の若さで母校の助教授に抜擢されました。二十五歳からは助教授を兼務しながら北海道庁技師に就任し、技術官僚の道を歩き出します。

岡崎の初仕事は豊平橋の設計でし



流域面積は北海道全体の約6割にも及ぶ大河、石狩川

た。豊平川は日本屈指の急流で、明治四年（一八七一）に木製の橋が架けられて以来、すさまじいエネルギーで洪水のたびに橋を破壊していたのです。

お雇い外国人が設計した「日本初の西洋式橋」も二年で落ちてしまっています。岡崎は、橋梁工学の世界的権威である農学校の恩師・廣井勇からただ一言、「墜落しない橋を架けたまえ」と激励され、持てる知識を総動員して明治三十一年（一八九八）、道内初の人道鉄橋となる豊平橋を竣工させました。奇しくも同年、石狩川流域を豪雨が襲い、現在に至るまで最悪の被害を出しましたが、岡崎が設計した豊平橋はびくともしませんでした。

この水害が岡崎の運命を動かします。北海道治水調査会の委員になり、石狩川の治水に取り組むことになったのです。当時の北海道は、陸地の測量さえ不十分な時代。治水は、石狩川の姿をつかむことから始めなければなりませんでした。

岡崎は国内外の主な川を視察し、米国ミシシッピ川のように自然のままに蛇行して流れる川があれば、ドイツ

起こします。岡崎は約三十カ所で水位・流速を観測しました。危険な洪水の最中に多くの人々を動かして未知の調査を成し遂げたこと自体、驚嘆に値するものでした。さらに観測結果を解析して、最大洪水流量（氾濫しないで流れた時の川の流量）を毎秒八千三百五十立方メートルと算出しました。この数字は極めて正確で、

位が下がったことで、泥炭地の地下水が川に抜け、現在の豊かな穀倉地帯の土台ができました。

治水計画の基本として昭和四十年（一九六五）まで用いられました。岡崎はこれらの知見を「石狩川治水計画調査報文」にまとめました。自然の川は理想的な姿なので不良な部分に対してのみ改修を行い、あふれた水は放水路に流す治水の方法を提案し、自ら自然主義と名付けました。

ところで岡崎が提唱した自然主義は消え去ったのでしょうか。否です。川の本質をとらえたこの思想は、現代にこそ、生かされています。その例が釧路湿原国立公園の自然再生です。直線化された釧路川が湿原内部にまで土砂を流入させ、貴重な動植物が脅かされていたのが、蛇行する川に戻したところ自然が再生したのです。防災と環境保全の両立とも言えます。このように岡崎の功績は、ますます輝きを増しています。

写真提供／国土交通省北海道開発局札幌開発建設部

プロフィール

昭和三十七年（一九六二）生まれ。札幌市在住。筑波大学比較文化学類卒業後、婦人画報社（東京）で月刊誌の編集に携わり、平成三年（一九九二）より札幌でノンフィクションライターとして活動。



岡崎は高機能・低コストな護岸ブロックも考案。鉄筋コンクリートブロックに金属ワイヤーを通してつなぎ、米国ミシシッピ川でも約1,600kmにわたって敷設されている。写真は石狩川

やフランスでは蛇行した部分を直線で結ぶ工事を施した川もあることを知ります。後者が捷水路と呼ばれる治水方法です。捷水路によって流速が速くなり洪水は速くはけますが、船の航行が困難になる難点がありました。

帰国後の明治三十七年（一九〇四）、またしても石狩川が大洪水を

しかし川と放水路の両方に堤防が必要で財政負担が大きく、鉄道や道路の整備が進んで舟運が衰退した社会の変化もあり、岡崎自身が捷水路方式に転換します。捷水路で流速が増し水

野鳥観察の事始め

円山にカラス類は3種生息している！

北海道大学大学院理学研究院

教授 高木 昌興

みなさんの円山での野鳥観察も二年目を迎えます。前号でナナカマドとシラカンバについて『かなりの豊作です。：今年の円山には多くの冬鳥たちが来る可能性が高いと思われます。』とご紹介しました。確かに豊作でした。しかし鳥たちの数は記録的に少ない冬になってしまいました。なぜなかったのか、考えられる一つの要因は札幌周辺では一月下旬まで記録的に雪が少なかったことです。周辺の山々でも雪が少なく、札幌同様に餌があるのであれば円山周辺にまでは降りて来る必要がなかった可能性があります。また北海道より北の地域の気候や餌の条件が良かったのかも知れません。しかし二月に入るとかなりの雪が降りましたがそれでも冬鳥は少ないままでした。ということはこの仮説は却下です。今

年は本州以南でも非常に冬鳥が少ない傾向にありました。もう一つの要因は、昨年の鳥たちの繁殖成功の状況です。多くのつがい繁殖に成功し、雛を多く育てると円山にやってくる鳥たちの数は多くなります。つまり昨年は鳥たちの繁殖成功率が低かった可能性があります。日本列島全体の傾向から考えると後者が有力です。今年は、円山の自然は他の地域の自然と繋がっていることを実感した冬として記憶しておきましょう。一方で、円山界隈に何百何千という数えきれないくらい多数の冬鳥がやって来る年もあります。そういう現象はイラプション（爆発）と呼ばれます。来冬こそは！楽しみは後に取っておきましょう。

さて、これまでは季節ごとにみられる野鳥



【写真1】ハシブトガラスと林立するマンション

を広く紹介してきました。今年は少し深掘りしていきたいと思います。今回はカラスに着目してみます（写真1）。円山のカラスといえば悪い印象が付き纏います。なんとと言っても、お弁当泥棒、人を襲うことでしょうか。ベンチに座って、お弁当を広げ、まずはお茶でもと思つて弁当から目を離れた瞬間、大きなカラスがスウーと飛んで来て、サツと弁当をかつさらいます。コンビニの袋を下げていると後ろスウーと飛んで来て、ガサツと奪い取ります。なんで食べ物が入っているのが分かるの？なんて思ったのではないのでしょうか。これはカラスがコンビニの袋イコール、食べ物と学習しているためと考えられます。円山のカラスは栄養満点の人間の食べ物を上手に使って生きている



【写真2】ハシブトガラス 全長57cm

のです。

弁当泥棒のカラスをじっくり観察したことはありませんか？怒りでそれどころではない！そう言わずによく見て下さい。羽の表面は緑や紫色の光沢でとても美しいことがわかります（写真2）。光が当たる向きで色が変わる構造色です。美しい泥棒カラスは、ハシブトガラスです。嘴が頑丈そうに太く、上嘴の中段から先端にかけて丸みを帯びています。嘴の根本から頭への額が角張っているのも特徴ですが、たまになだらかに見えることもあります。そしてとても大きい。ハシブトガラスは綺麗好きです。水浴びをよくして（写真3）、一年中仲睦まじく、つがいです。

まじく、つがいです。カーカーと澄んだ声で鳴きます。

円山のもう一種のカラスは、ハシボソガラスです。構造色ではあるもの、あまり目立たず、むしろシックな美し



【写真4】ハシボソガラス 全長50cm

さがあります。二枚の羽を見ると羽の縁は漆黒、内側光沢のある黒色で、それらの羽が重なりあっている背中は鱗模様に見えます（写真4）。嘴はハシブトガラスに比べて細身で、上嘴のカーブも額もなだらか。体は小さめです。ガーガーと濁った声で鳴きます。人の食べ物や泥棒することは、ほとんどありません。一方で、すごい芸当を持っています。車が赤信号待ちで止まると、ハシボソガラスは車道に出て何かを道路に置きます。青信号になると自身は轢かれなように避難して、信号が赤になると車道に戻り、何かをつまんで運び去る。轍の



【写真5】カケス 全長33cm 亜種ミヤマカケス

硬いクルミを置いて、車に轢かせて割り、脂肪分たっぷりの胡桃を食べるのです。つまりハシボソガラスは車を道具として使うことができる頭の良い鳥なのです。

冬の円山には、数は少なく例年二三羽程度ですが、もう一種のカラスがいます。黒くないカラス、カケスです（写真5）。全体に茶色で尾が長いスタイルです。翼には非常に美しい白と青と黒の縞模様の羽を持ちます。基本的にはジェージェーと鳴きますが、様々鳴き真似をする個体もいます。どんな鳴き真似をするか、聞いてみて下さい。

カラス類の生態、奥が深いです。まずは一年を通して円山で生活している二種の黒いカラスをじっくり観察してみましょう。余裕があれば冬のカケスも。



【写真3】水浴び中、瞬膜を閉じて目が白く見える

社頭風景

元旦

十二月～三月



元旦

今年の正月は例年よりも雪が少なく、大晦日には雪が降ったものの、年が明けると頃には雪がやみ、多くのご参拝をいただきました。海外の方のご参拝も多く見受けられ、三が日で見ると参拝者数は約四十五万人と昨年よりも二万人程多くなりました。年末年始を通して事故などもなく無事皆様をお迎えでき、諸行事を滞りなく終えることができました。



煤払い(12月26日)



餅つき(12月27日)

大鏡餅奉納

令和六年十二月二十六日(木) 北海道内のもち米生産地の農協などで作る北海道もち米団地農協連絡協議会とホクレン農業協同組合連合会により、五穀豊穡・無病息災を祈り北海道産のもち米「はくちようもち」で作られた三段で百二十キロある紅白の大鏡餅が奉納されました。大鏡餅は七人がかりで運び込まれ、神職により大前にお供えされました。大鏡餅の奉納は六度目となります。



大鏡餅

北川悠仁氏ご参拝

二月七日(金)「ゆず」の北川悠仁氏が、北海道でのライブを前に当神宮をご参拝されました。



北川悠仁氏

第十三回新成人寒中禊会

二月二十三日(日)恒例の新成人寒中禊会を執り行われました。参加者たちは天長祭に参列した後、雪の積もる厳寒の中、水を被り心身を清めました。



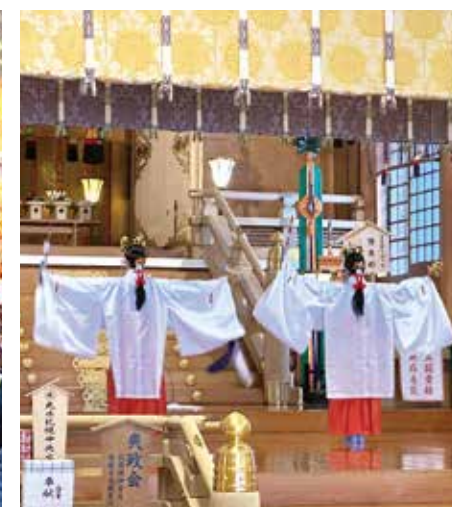
禊する参加者たち

雛人形展

二月六日(木)より三月十六日(日)まで祈禱者控殿において、札幌在住の人形作家である山田祐嗣氏所蔵の明治から平成までの雛人形や、押絵雛、当別町の甲斐の会作製の吊るし雛の展示を行いました。



古神札焼納祭(1月14日)



歳旦祭(1月1日)



師走の大祓(12月31日)

奉賛会だより

〈北海道神宮奉賛会〉

『大祭』並びに『総会』のご案内

奉賛会会員の「家内安全・心身健全・生業繁栄」を祈願する『大祭』と『総会』を左記のとおり開催いたします。

会員の皆様には、万障お繰り合わせの上、ご参列、ご出席賜りますよう、ご案内申し上げます。

◆日程

令和七年五月十一日(日)

午後一時三十分 『大祭』(本殿)

引き続き 『総会』(参集殿)

◆総会議事

一、令和六年度

事業報告並びに収支決算の件

一、令和七年度

事業計画(案)並びに収支予算(案)の件

◆新入会員・協賛者のご紹介

当会へのご入会・ご協賛を頂きまして、まことに有り難うございます。令和六年十一月十六日から令和七年二月末日までのご入会の方、また会費以外にご協賛頂きました方のご芳名をご報告致します。お名前漏れ等がございましたら、お手数ですが事務局までご連絡下さい。

(敬称略・順不同)

◆新入会員のご紹介

(福)ゆあみ会(工房)ぶし・いこい
橋本 真志
永井 美弥子
川嶋 達哉
野村 忍
佐々木 新
本間 智也
加藤 あゆみ
中堀 美也
澤登 真奈美
澁谷 順子
(株)つば八
樋口 克信
岩井 弘一
丹羽 眞一
佐藤 嘉祐

島山 平
津田 優子
川倉 美喜
鬼木 正人
大場 千里
佐々木 実
松田 一雄
(同)br
山谷 隆明

◆協賛者のご紹介

◆十五万円
フォービスアローズ(株)代表取締役 郷六尚
◆五万円
札幌ワインマーケット(株)中野 旬太郎
◆四万円
ヤハラ消防設備(株)取締役社長 杉野 彰彦
◆三万円
(株)東家寿楽会長 佐藤 元治
(株)大室洗染所
新工電気(株)代表取締役 古嶋 清隆
◆二万円
ホクユウテクニカ(株)代表取締役 北越 孝
東邦交通(株)
田中 則久
福士 郁弘
羅田 秀顕
中居 俊悦
◆一万八千円
宮治 理陽

◆一万五千元
駕龍寺 富山 義賢
◆一万円
吉川 淳也
(有)青山保険事務所 青山 勝治
今井 一彦
内山 産業(株)
(株)カネイ小川
(株)北藤電設工業
興亜防災設備(株)
(株)構造・デザイン設計代表取締役 古岡 弘一
桜井 和久
ストアプロジェクト(株)間宮 なつき
(株)高島建築設計 高島 潤一
高柳 節子
田中 正治
塚本 淑子
(有)津島興業 代表取締役 津島 明美
出村 左巨工業(株)
中峰建設(株)
(株)なかむら美巧社 代表取締役 中村 明彦
西出興業(株)代表取締役 西出 達司
長谷機械商事(株)
平山 晃也
(有)北陽写真場 代表取締役社長 小田 切修
本間 克夫 税理士事務所 本間 克夫
(株)町村農場
(株)丸中 中島 商店

三上 直彦
(株)美好屋 代表取締役 竹林 和俊
吉尾病院 院長 安田 晶子
米田 光秀
(株)六花亭
(株)わかさいも 本舗
(株)中昭 中井 昭一
中村 紀行
(株)タイコ企画サービス 本山人
大黒 恵美子
山崎 勝
(株)有我工業所 代表取締役 有我 有希
宇津野 真理
中村 美智子
北村 友佳
(有)エースメンテック 代表取締役 福岡 忠博
松本 哲也
炭火焼鳥 大 相川 優則
North management企画代表 齊藤 孝憲
内藤 寛
(株)シンテック
システムニーズ(株)
齋藤 直美
佐藤 和子
岸本 修
長谷川 好道
Chan Yan Wai
北海道相互建設(株)

◆五千元
花田 定男
東 重孝
油井 昭造
井上 翔
船見 由貴
太田 秀造
小沢 幸司
覚 幸 龍一
(株)加藤物産館 加藤 俊郎
河合 伸子
河原 清光
踊翠流剣詩舞総本部 菊池 誓子
久保 幸子
栗原 敬
黒瀬 幸夫
佐藤 裕治
紫藤 正行
渋谷ネーム工芸 渋谷 十九男
庄内 喜久子
(有)女子道社
鈴木 憲治
(有)ファインテクノ 佐々木 盛康
滝口 伸一
(社)実践倫理宏正会 竹井 路雄
寺沢 一敏
中能 雅和
中屋敷左官工業(株)
中山ミシン商事(株) 中山 菊雄
山鼻動物病院 成田 隆
新岡 正
深尾 喜陸
福岡 敏行
北洋設備(株)

細川 昌延
北海道電子機器(株)
丸ヨ不動産(株) 帯向 忠博
三上 陵逸
(医)宮の森皮膚科
盛岡 吟子
安田 容昌
町田 隆敏
山本 巖
山本 晃靖
山本 秀樹
横山 公子
吉岡 砕石工業(株)
吉村 邦子
吉山 八郎
(同)若駒代表取締役 櫻井 慶一
玉置 重俊
對馬 眞智子
渡邊 靖司
西山 万千代
(医)花岡神経クリニック 花岡 秀人
かわむら歯科クリニック 川村 裕司
阿部電気機工 阿部 茂樹
沖田 善輝
松本 武志
(医)西野おおくば整形外科 大久保 隆夫
宮下 奈巳
後藤 淳子
三浦板金工業 代表取締役 三浦 晃嗣
金坂 孝敏
佐藤 秀樹
藤江 千鶴子
(株)シグナル 代表取締役 赤沼 泰弘
下前 良

幸島 究	
森藤 正巳	
北田 康	
目良 純一郎	
小山内 徹	
村本 達生	
松嶋 博之	
渡部 康人	
中西 昭弘	
今川 昌樹	
工藤 律子	
佐々木 真次	
鶴戸 晏子	
寺井 伸	
中村 利義	
中村 康	
西田 善彦	
信本 明子	
長谷川 博康	
浜口 武	
堀江 正一	
真崎 千穂子	
正木 修二	
松野 敏昌	
榊まるいち 齋藤 友子	
三浦 清志	
水上 正裕	
宮地 宏	
森分 一成	
阿部 真澄	
（税）さつばろ 税務会計 代表社員 阿部 真澄	
薄田 治夫	

長谷部 克哉	
西川 隆也	
澤内 公	
木村 美智子	
西野 浩	
佐藤 睦子	
梶田 宏一	
富岡 百合子	
福島 康弘	
佐々木 美佐江	
及川 敬太	
宮本 力	
三浦 良夫	
岡川 一	
尾形 和美	
小野 麻実子	
加藤 雄二	
金子 幸永	
神永 もと子	
北村 清松	
桐山 達郎	
鈴木 繁行	
佐々木 紀久子	
菅原 政輝	
情野 隆	
多田 洋子	
多田 良子	
田端 英敏	
辻 祐二	
富山 典子	
服部 倫子	
水上 信吉	

山岸 運送サービス 山岸 誠	
大和 輝男	
田中 厚好	
中塚 秀人	
久保田 眞理子	
内田 昇	
木澤 季之	
仁科 啓孝	
松浦 壽	
浜本 茂	
鈴木 伸浩	
平埜 エミ子	
遠藤 等	
戸田 勝善	
南部 士郎	
上野 榮	
上野 良子	
藤島 邦洋	
亀田 康	
伊藤 勇一	
田中 良介	
今野 豊	
鐘 信弘	
前田 生馬	
武内 秀介	
宮村 謙一郎	
片平 幸代	
熊谷 亘泰	
村上 浩平	
川口 麻夕	
星野 通孝	
小山 まりえ	

榊 ケーワックス 小林 正則	
武田 くみ	
旅河 喜世	
堀米 裕二	
平 満 允	
伊原 裕	
尾崎 年永	
畠山 昌代	
奥山 幸樹	
笹山 真由美	
日時 正尚	
熊谷 和己	
松村 歩美	
川上 輝	
野上 彰二	
鈴木 笑子	
青山 隆	
福田 盛雄	
田中 清一	
佐藤 梨香	
岩崎 昌巳	
安田 雅人	

市山 義晴	
菅原 寿幸	
藤田 勝也	
大森 孝行	
高梨 削蹄 高梨 桂二	
（有）大関調剤 代表取締役 大関 博敬	
齊藤 寧・久美子	
安川 哲夫	
江川 葉子	
中川 美則	
市橋 武道	
寺島 典男	
（有）コウエスト 代表取締役 大西 仁詩	
坂尻 康平	
渡辺 臣明	
内田 大介	
鳥居 幸子	
庄田 澄子	
遠田 深雪	
千葉 時代	
木村 浩	
米坂 進	
盛 まなみ	
佐藤 清	
丹羽 力	
坂本 和也	
吉田 光臣	
畑川 修一	
馬場 顕介	
松村 将之	
山坂住設サービス 山坂 修務	
沼倉 雅治	

伊藤 八枝子	
中村 理	
奥山 茂樹	
岩間 久美子	
豊田 敏志	
高取 由季	
渡邊 裕司	
樋口 未来	
福岡 忠博・亜紀	
中澤 圭	
伊東 裕司	
中嶋 啓樹	
早坂 聡	
大関 宏典	
本田 大輔	
（株）アシスト	
矢野 美紀	
阿部 祐治	
西和 夫	
吉岡 亮平	
（株）花吉	
丹野 佳良子	
相木 雅明	
三橋 忍	
百瀬 幸恵	
石本 紘之	
谷 美由貴	
（有）アップ・スタンダード	
新藤 賢一	
高濱 真由美	
大道 勝之	
渡邊 一哉	

佐藤 祐介	
石田 一正	
藤本 英樹	
渡辺 一樹	
菊地 由晴	
栗林 美加	
落合 哲也	
板垣 真二	
村井 和雄	
小川 政徳	
西村 次郎	
森 剛	
（株）ベルライフ	
◇三千元他	
（有）安達 代表取締役 安達 学	
安部 健司	
猪狩 金次郎	
大島 恵子	
大関 雅朗	
大谷 国男	
小野 まき子	
北島 英司	
後藤 久子	
佐々木 都紀子	
篠原 忠一	
神 忠弘	
宗 百合子	
萩野 隆章	
高橋 忠良	
武田 美奈子	
（株）バンテック	

平間 美枝	
北洋 コーキング（株）	
村上 一元	
山上 みゆき	
鐘水 博樹	
鈴木 良江	
佐藤 憲幸	
津川 由美子	
佐藤 勇	
藤井 一徳	
関口 フミ子	
由比 睦男	
武田 美喜男	
金野 イシ	
妻木 悦朗	
勝浦 栄子	
長田 博	
永森 奨樹	
合田 雅行	
三上 政輝	
（株）テンショウ 太田 修	
矢口 憲雄	
鶴田 みゆき	
久保 純	
菅原 浩了	
藤井 浩二	
長尾 恵美子	
齊藤 啓太	
前田 憲太郎	
後藤 彰	
佐藤 明代	
高橋 一枝	